さくら新聞

～笑顔de共育て～

令和４年12月１日発行
石神井町さくら保育園
〒177-0041
練馬区石神井町７－25－45
TEL　3997-0070
FAX　3997-0972

月の主題：楽しい師走
今月の保育のねらい：師走の雰囲気を楽しむ

おすすめの本

松居 直　作
（日販アイ・ピー・エス）

一年の締めくくりにあたって

師走を迎え、子どもたちにとっては、楽しいことが目白押しの月になりました。今年スタートした、４歳児・５歳児クラス対象のゲームの貸出は大好評で、毎週、ほとんどの家庭の親子がおひさま（事務所）に「○○のゲーム貸してください」と笑顔で訪ねてくれます。

「ゲームは、姉妹でご飯前にすごく盛り上がっていました。ご飯の準備の間はテレビタイムだったのですが、ゲームの方が楽しいと思ったようで、テレビに見向きもせず、素敵な時間が過ごせました。子供は正直ですから、楽しいこと、新しいことの方が好きですものね。保育園のご提案、すごく助かっています。ありがとうございます。」

「昨晩は2人でお借りしたボードゲーム（オバケ階段のやつ）をしました。一緒に取り組める、一緒に楽しめるという事がなかなか出来ていなかったので、とてもいいなぁこれぇとなった母でした。ありがとうございます。」

と、保護者の方々から嬉しい感想をいただいています。ありがとうございます。

さて今月は、月刊絵本「こどものとも」を創刊し、先日96歳で亡くなられた松居直氏の本をご紹介します。『ぐりとぐら』『だるまちゃんとてんぐちゃん』など、編集者として手がけた作品は今も多くの人に読み継がれています。『絵本は心のへその緒』の中で松居氏が

「絵本というものの意味や役割は何ですか？」とときどき聞かれることがあります。それは「共に居る」ことだと私は思っています親と子が共に居て、その生活の時間と空間のなかに「言葉」があること。そして「読み手」と「聞き手」がその言葉の喜びを「共有（share シェア）すること」に、絵本の最も大切な意味と役割があります。と書いておられます。

年末年始の長いお休みのときに、ぜひとも、絵本やボードゲームなどのアナログな世界で、**親子で共に居て、楽しい時間を共有（share）**し、楽しく穏やかな気持ちで過ごせるお休みになりますよう、願っています。

改めて、今年一年、保護者の皆様には保育園の運営にご理解ご協力いただき、心より感謝申し上げます

新たな年の皆々様のご健勝を心よりお祈り申し上げますとともに、来年も何卒よろしくお願いいたします。

（文責：有馬　聡子）

大きくなったね会

子どもたちの成長を保護者の皆様と共感できることを願って、４歳児・５歳児クラスで『大きくなったね会』を実施いたします。

子どもたちに過度な負担を強いて練習させることなく日々の保育の中で身に付けた力や成長した姿を楽しく表現できる会になればと願っています。

コロナ禍での行事となり、人数制限・常時換気・座席固定などの配慮をしつつ実施いたします。詳細は別紙お便りご覧ください。

12月 行事予定

日	曜日	内　容
2	金	大きくなったね会 （4、5 歳児親子）
6	火	避難訓練
7	水	身体計測（乳児）
8	木	身体計測（幼児）
14	水	アートくらぶ（4 歳児クラス）
15	木	歯科健診
20	火	5 歳児クラス交流会 （つつじ保育園・谷原保育園）
22	木	アートくらぶ（3 歳児クラス）
27	火	もちつき（鏡餅づくり）
28	水	0 歳児健診

・絵本貸出日：８日、15 日、22 日
・ニコニコフォト撮影予定日：2 日
・ゲーム貸出（４歳児 5 歳児クラス）
　貸出日：毎週（水）・（木）・（金）
　返却日：毎週（火）
＊今年最後の貸出は 23 日（金）です。
　新年最初の貸出は 1/11（水）です。

お知らせ

保育最終日　令和４年 12 月 28 日（水）

＊令和４年 12／29（木）
～令和５年 1／3（火）　休園日

保育開始日　令和５年１月４日（水）